

北上市立

鬼の館

だより

2023(R5).3
第58号



祝

「風流踊」

ユネスコ無形
文化遺産登録

2022年11月30日、北上市と奥州市の4団体で構成された鬼剣舞を含む全国41件の民俗芸能「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

鬼剣舞が現代まで踊り継がれるのは昔から人々が大切に守ってきたからです。そんな地域の宝を誇りに思い、これからも大切にしていきたいですね。未来へ受け継がれるようさらなる活躍が楽しみです。



地域の宝が世界の宝に！おめでとうございます！

鬼の館令和4年度下半期をふりかえって

鬼っこわんぱく講座『鬼剣舞体験』



1月7日(土)の開講式を皮切りに、1月28日(土)の発表会・閉講式まで、全5回にわたりわんぱく講座鬼剣舞体験を行いました。鬼剣舞大好きな6人の子も達が、岩崎鬼剣舞保存会の指導のもと、「刀剣舞の狂い」に取り組みました。

練習が始まる前に子ども達は3つの物を身に着けます。1つは紅白帽子。2人1組になって踊りますが、赤と白に分かれ、踊りの微妙な違いを意識させます。2つ目は手首足首テープ。右は赤、左は白を着けます。右左が分からない子どもにも色で指示を伝えることができます。「赤の手は上にあげて白の手は腰に…」という感じです。3つ目は腰帯です。腰帯は本物の衣装を着たときにも体の真ん中に結ぶ物です。白の腰帯を結ぶと心がきりりと引き締まるような感じがします。

子ども達はこの3つを身に着け、心を整えて練習に臨みました。集中力もあり、練習態度は真剣そのものでした。発表会では、家族や保存会の先生方に見守られ、上手に発表することができ、どの子の顔も満足感であふれていました。



「鬼剣舞ちょっぴり見学・体験会」は、わんぱく講座の期間中に行っています。講座に参加するのは難しいけれど、ちょっとだけやってみたいというお子様が、楽しそうに参加しています。

冬休みワークショップ

今年度も小学生を対象とした冬季工作ワークショップを開催しました。

12月17日(土)に実施した「厄除けしめ縄リースづくり」では、厄除けの願いを込めたお正月飾りを作成しました。参加してくれたのは北上市内の小学生9名です。

鬼剣舞のお面や造花、水引などの飾りを付け、お正月を迎えるにふさわしい華やかな作品ができあがりしました。

12月24日(土)には「鬼剣舞和紙お面づくり」を実施しました。型に和紙を貼り重ね、張り子のお面から作成し色を塗る「全工程の部」と、あらかじめ用意してお面に色を塗る、



「色塗りの部」に分けて実施しました。

午前中から作業に取り掛かる「全工程の部」には北上市内の小学2年生から6年生までの5名が参加してくれました。鬼剣舞のお面の型は彫りが深いため和紙を貼り付けることが難しく、苦戦する様子も見られましたが上手に仕上げることができました。午後は「色塗りの部」と一緒にお面を仕上げました。長い時間でしたが、みなさん集中して取り組んでいました。冬休みのよい思い出となったことでしょう。



令和5年節分～疫病退散と地域の絆～

コロナ禍のため、今年も「福豆鬼節分会」は中止としました。3年連続の中止で、とても残念に思います。しかし、この節分行事は、地域として長い間取り組んできているものなので、なくすわけにはいかないと、岩崎地区の青年会や交流センターの職員とともに、代替行事「令和5年節分～疫病退散と地域の絆～」を行いました。

規模も時間も内容もかなり縮小しましたが、地域の人たちの思いがギュッと詰まった節分を行うことができました。



疫病退散を願い、岩崎鬼剣舞の厄除け祈願、豊作を願い雪の中での庭田植えのほか、地域の芸能を4つの団体に披露していただき

ました。岩崎鬼剣舞、煤孫ひな子剣舞、岩崎鬼剣舞スポーツ少年団、いわさき認定こども園です。

特に、子ども達の出演する芸能は、コロナ禍ではなかなか披露する機会がありません。認定こども園では、年長児が鬼剣舞に取り組み、



いろいろな場面で披露してきていましたが、ここ2、3年はその機会がありませんでした。コロナ対策に気遣いながらの出演ではありましたが、子ども達の元気なかわいい踊りを見ることができたのは、たいへんうれしいことでした。

節分の最後は何といても豆まきです。何の心配もなく、鬼剣舞を踊ったり見たりできる日が、早く戻ってきてほしいと願わずにはられませんでした。



鬼学講座

今年度は「信仰」をテーマとし、全2回の講座を開催しました。

1回目は花巻市博物館の中村良幸館長から、北上山地の最高峰・早池峰山について、山を巡って人々が歩んできた歴史や早池峰信仰の変遷、早池峰山の山伏が受け継いできた早池峰神楽の概要などを学習しました。

2回目は岩手県立博物館の近藤良子主任専門学芸員から、生き物が持つ能力に霊力を見出し、時には神の使いとして敬うことで生き物に祈りを込めた動物信仰について、県内の事例をもとにご紹介いただきました。今回の講座で、多様な信仰の在り方とそれに伴う先人の願いを知り、自然や生き物を畏れ敬う心を考える機会となりました。



常設展示室の改修

モニター展示を行っている「日本の鬼まつり」および「ビデオブース」を改修しました。

開館当時の趣を残したまま、タッチパネル画面による手軽な操作が可能で、事務室のPC上で制作した最新の映像コンテンツをご覧いただくとともに、字幕や手話の画像挿入などが可能となりました。

以後、さまざまなアーカイブでの紹介とインクルーシブな博物館を目指し、多くのみなさまに楽しんでいただけるよう努めてまいります。



鬼カフェ

No.15

和賀大乘神楽保存会 鈴木智大さん ともひろ

1月8日(日)に鬼の館で新春大乘神楽大会が開催されました。「三番叟^{さんぼそう}」を披露する和賀大乘神楽保存会の鈴木智大さんは、神楽に対してたいへん熱い思いをもって取り組む 23 歳です。

鈴木さんは2021年に数々の修行を経て「法印^{ほういん}」となりました。和賀大乘神楽保存会において、リーダー的な立場に当たる「法印」が誕生したのは41年ぶりとのこと。これからの和賀大乘神楽を引っ張っていく担い手として今後のご活躍がとても楽しみです。

また後継者不足などさまざまな課題が挙げられるなか、新しい取り組みを企画するなど多くの人々に神楽を知ってもらいたいと考えながら活動しているそうです。

鈴木さんは今後もライフワークとして神楽に携わっていきたいと話します。



新春大乘神楽大会にて「三番叟」を舞う鈴木さん



鈴木智大さんより

神楽は私にとって憧れでした。神楽を始めたのは7歳の時でしたが、それ以前から(今もですが)神楽や鬼剣舞のビデオを見て真似していました。テレビの奥の舞手は幼い私にとっては戦隊ヒーローのような存在だったのです。特に師匠である父や、父の師匠である曾祖父の舞へ憧れを抱き、伝統を引き継ぎながらも技を磨き、彼らの舞を超えることに青春をかけました。

そんな生まれながらの神楽馬鹿である私ですが、大学の卒論で和賀大乘神楽を対象とし、芸能の伝承とは何かを論じることにしました。それは、一人のプレイヤーとして神楽が抱える後継者不足、文化財化、観光化といった問題を肌で感じており、それを踏まえて神楽をどのように未来に継承していくのかという生存本能にも似た意識があったからです。

このような研究の過程で得た知識・経験を活かして、新しい公演を企画したり、後継者をリクルートしたりなど、和賀大乘神楽の明るい未来に少しでも貢献できればと思い、日々活動しております。



学芸ルームから

特別展「新収蔵資料展」 会期：1月7日(土)～2月19日(日)

特別展「新収蔵資料展」では、2016年以降に収蔵した新たな資料に加え、一般に公開することの少ない収蔵資料を展示しました。今回は新収蔵資料のうち一つをご紹介します。

「観音霊験記 秩父巡礼 二拾五番久那
岩谷山久昌寺 奥野の鬼女」

「観音霊験記」とは、百観音霊場を描いた浮世絵です。百観音霊場とは、西国三十三所、坂東三十三箇所、秩父三十四箇所を合わせた100箇所の観音霊場のことで、江戸時代には庶民の巡礼地として賑わいました。秩父三十四箇所の各霊場の縁起を三代歌川豊国、二代歌川国貞が描き、境内の景観を二代歌川広重が描きました。

本資料は、そのなかの秩父三十四箇所のうち第25番目の札所である岩谷山久昌寺を舞台とする浮世絵です。

久那の奥野へと追われた鬼女が、美しい心を持った娘を出産します。しかし、これまでの悪業が祟り、娘が15歳になったときに鬼女は死にます。娘は、母が後世で苦しまないよう、里人の協力を得て観音堂を建立して母の菩提を弔ったと記されています。



「観音霊験記 秩父巡礼 二拾五番久那
岩谷山久昌寺 奥野の鬼女」(鬼の館蔵)

令和5年度 上半期事業のお知らせ

□ 企画展

- ・ 4月22日(土)～ 6月18日(日)
ギャラリー鬼の館
- ・ 6月22日(土)～ 7月23日(日)
三館連携展「つくる巨人岩間正男展」
- ・ 8月 5日(土)～10月22日(日)
企画展「風流踊と鬼剣舞」

□ 芸能公演

- ・ 4月23日(日) 北藤根鬼剣舞
- ・ 5月 3日(水・祝) 鬼柳鬼剣舞め組
黒沢尻鬼剣舞
- ・ 6月25日(日) 岩崎鬼剣舞
- ・ 7月 9日(日) 黒岩鬼剣舞
- ・ 7月23日(日) □内鬼剣舞
- ・ 8月 5日(土) 岩崎鬼剣舞ほか
- ・ 8月13日(日) 岩崎鬼剣舞
- ・ 8月27日(日) 相去鬼剣舞
- ・ 9月24日(日) 御免町鬼剣舞

□ イベント

- ・ 5月 5日(金・祝)
こどもの日わくわくイベント
- ・ 6月11日(日)
第29回大乘神楽大会
- ・ 9月 9日(土)
逢魔が時ナイトミュージアム

□ 体験会・講座

- ・ 7～8月 夏季ワークショップ(※要申込)
- ・ 7～8月 鬼っこわんぱく講座
夏季鬼剣舞体験(※要申込)
鬼剣舞ちょっぴり・見学体験会

※事業は急な中止や内容を変更する場合がございます。
ご了承ください。

下半期事業報告

●企画展・特別展

企画展「北上のおまじない展」 9,606人
7月23日(土)～11月23日(水・祝)

特別展「新収蔵資料展」 1,471人
1月7日(土)～2月19日(日)

●芸能公演

10月2日 飯豊鬼剣舞少年団 観客 74人
谷地鬼剣舞 観客 122人

10月23日 鬼柳鬼剣舞 観客 212人

11月3日 二子鬼剣舞 観客 136人

11月6日 滑田鬼剣舞 観客 84人

●鬼ッズ・プレイミュージアム

10月1日～3月15日

和紙お面づくり 参加者 55人

鬼剣舞衣装着衣体験 参加者 11人

冬休みワークショップ

12月17日 厄除けしめ縄リース作り 参加者 9人

12月24日 鬼剣舞和紙お面づくり 参加者 8人

●鬼っこわんぱく講座

冬季鬼剣舞体験
1月7日・9日・14日・21日
・28日(発表会) 参加者 6人

鬼剣舞ちよっぴり見学・体験会
1月9日・14日 参加者 12人

●福豆鬼節分会

中止

令和5年～疫病退散と地域の絆～(代替行事)
1月29日(日) 参加者 112人

●鬼学講座

第1回 2月11日(土・祝) 参加者 22人
早池峰信仰と山伏の神楽
講師：中村 良幸 氏(花巻市博物館館長)

第2回 2月25日(土) 参加者 16人
岩手県内の不思議な動物信仰あれこれ
～オオカミ・ネコ・クジラに何を祈ったのか?～
講師：近藤 良子 氏(岩手県立博物館主任専門学芸員)

利用案内

開館時間 午前9時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

- ・12月～3月の月曜日
- ・12月～3月の国民の祝日の翌日(土・日・月曜日の場合は火曜日)
- ・館内整理日(11月27日～11月30日)
- ・年末年始(12月28日～1月4日)
- ・その他、臨時休館日あり

交通利用

- ・JR北上駅より車で約20分
- ・東北自動車道「北上江釣子I.C.」秋田自動車道「北上西I.C.」よりともに車で約15分

案内図



北上市立鬼の館だより

第58号 2023(R5). 3.31

編集・発行 北上市立鬼の館

〒024-0321 北上市和賀町岩崎16地割131番地

TEL 0197(73)8488 FAX 0197(73)8508

観覧料

区分	個人	団体 (20名以上)	共通観覧券
一般	500円	400円	700円
高校生	240円	180円	300円
小中学生	170円	120円	200円

*未就学児は無料です。

*共通観覧券は鬼の館のほか、北上市立博物館、北上市立利根山光人記念美術館でご利用いただけます。各施設1回ずつ観覧でき、有効期限は発効日より1年間です。

*定住自立圏(北上市、奥州市、金ヶ崎町、西和賀町)に居住する小中学生は無料となります。

*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料となります。手帳をお持ちの方1名につき、付添の方1名も無料となります。

*北上市消防団員は無料となります。団員1名につき同行者5名まで無料です。受付の際に、消防団員カードをご提示ください。

学芸ルームのかたすみで・・・

今年度末、コロナの流行以後初めて台湾からの団体客があり、中国出身の私が担当しました。台湾では「鬼は悪いことをする、地獄にいる」というイメージがあります。そこで「鬼は神や自然に近い存在としても考えられている」と解説すると、台湾と日本の鬼文化の違いを感じたようでした。

また、記念写真を撮るとき、日本人は横一列に並びますが、台湾の方たちは背景がよく見えるように斜め放射状に並んでいました。こんなところにも文化の違いがあり、面白いなと感じました。(浅田)